

マレーシアと省エネ支援に関する第4回オンライン会議を開催しました

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンター（ECCJ）では、経済産業省の委託を受けてマレーシアへの二国間省エネ協力事業を今年度も展開中です。コロナの関係で当面現地への専門家派遣と日本での研修は困難であることより、これまで3回のオンライン会議にて今年度の支援事業内容を協議してきましたが、2020年11月6日にマレーシアのエネルギー天然資源省他と第4回オンライン会議を開催し、今年度の支援活動のメインとなる12月のオンライン研修内容と来年2月のオンライン・セミナーの開催要領を協議しました。



1. 会議参加者：

- (1) マレーシア：エネルギー天然資源省（MENR）2名、持続可能エネルギー開発機構（SEDA）2名、エネルギー委員会（EC）2名
- (2) 日本側（ECCJ国際協力本部）：8名（含む東海支部 1名）

2. オンライン研修：新たに構築されるType 2 エネルギー管理士研修での熱分野予定講師及び制度構築担当者を対象として、2020年12月2-3日、9-10日の計4日間の日程で、所要時間は各日午前午後とも各2時間の研修となりますが、以下の内容を確認・協議しました。

- (1) 研修生数：Max. 15名の案内に対して9つの機関から14名が提案されました。若干名の追加要望がありましたので、オンラインでもあり了解しました。
- (2) 講義項目：熱エネルギー管理を中心に日本のエネルギー管理制度と省エネ診断も含んだ講義内容となりますが、各講義項目明細リストにより講義のイメージを提供しました。また参考までに日本のエネルギー管理講習の熱・電気のプロダム概要を示し、今回の熱管理研修もそれに準じたものであることを示しました。
- (3) 研修プログラムの代表機関ロゴと開講式・閉講式での馬側挨拶者を確認しました。

3. パイロット・プロジェクトのオンライン・セミナー：

熱エネルギーも含めたエネルギー管理システムの構築支援を意図したパイロット・プロジェクトは、今年度はコロナの影響で現地訪問は困難としていましたが、前回の会議で、関心のある企業に対してプロジェクト内容を紹介するオンライン・セミナーを来年2月に実施の予定としていました。そこで今般、その概要とセミナー要領を紹介し協議しました。

- (1) 参加企業数・仕様：4-5社。出来るだけ指定事業者レベルで、多少の投資も可能で、異なるセクターから選定していただく。
- (2) セミナー時期・所要時間：来年2月中旬の半日

4. 次回オンライン会議：12月研修の反省と2月のセミナーの詳細の確認をテーマとした会議を来年1月中旬に計画しました。

以上